

# ひゅうが市議会だより

2015  
(平成27年)  
7月28日発行

7

No.141



第11回日向七夕まつり (日向市駅前)

6月定例会 (平成27年第4回定例会)  
会期 6月12日~7月3日 (22日間)

◇市長提出議案	報告 ……	8件
	条例 ……	2件
	事件決議 ……	3件
	補正予算 ……	2件
◇委員会提出議案	条例等 ……	1件
◇請願等	陳情 ……	1件

市長から提案された議案、 請願等の審議結果 ……	2
表決結果、討論、補正予算の概要 ……	3
委員会審査から ……	4
一般質問 ……	5

▼表決結果の分かれた議案

議員名	畝原幸裕	松葉進一	森腰英信	若杉盛二	友石修司	治田美春	谷口高喜	黒木金勝	黒木藤久	近藤和久	日高喜久	三樹喜久代	富井寿一	海野誓生	黒木万治	荻原紘一	甲斐敏彦	岩切裕信	木田吉孝	溝口孝和	柏田公和	西村豪武
報告第2号 専決処分の承認 日向市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第4号 専決処分の承認 平成26年度日向市一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号 日向市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号 平成27年度日向市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成、●は反対。議員名は左から議席順。  
 ※ 畝原幸裕議員は、議長職のため通常は表決権はありません。

市長提出議案に対する討論

報告第2号 専決処分の承認 日向市国民健康保険税条例の一部を改正する条例  
 議案第57号 平成27年度日向市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

**反対** 払おうと思っても払えない国保税の滞納額は、4月現在で合計4億7500万円と深刻だ。今こそ国保税の抜本的な解決、国民健康保険法第1条で示されている、社会保障としての国保制度を実現することが切実に求められている。【日本共産党市議団】

報告第4号 専決処分の承認 平成26年度日向市一般会計補正予算(第8号)  
 議案第51号 日向市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

**反対** 番号通知を開始する共通番号(マイナンバー)制度は、税金や社会保険料などの徴収強化と社会保障などの給付抑制をねらうものである上に、ひとたび共通番号が流出すれば計り知れない被害を招く。実施は中止・撤回すべきだ。【日本共産党市議団】

補正予算

平成27年度一般会計6月補正予算 2億6,337万円  
 補正後総額 291億6,337万円

【主な補正内容】

◆6月補正

- ☆ 臨時福祉給付金給付事業 1億200万円
  - 消費税8%改正に伴い低所得者に対し、臨時的措置として臨時福祉給付金を支給する。支給額は一人6,000円
- ☆ 学校再編事業 165万円
  - 平成28年度からの幸脇小学校と美々津小学校の統合に伴い、幸脇小学校の閉校に関する諸費用を計上。

平成26年度一般会計補正予算(専決分) △5億2,060万円  
 補正後総額 297億8,966万円

◆3月補正 専決分

- ☆ ふるさと日向市応援寄附金事業 9,231万円
  - 平成26年度ふるさと日向市応援寄附金総額から必要経費を差し引いた金額を、27年3月に設置した「ふるさと日向市応援寄附金基金」に積み立てる。

▼市長から提案された議案と審議結果 第4回定例会(6月12日~7月3日)

議案番号	議案名	議決結果	付託委員会
報告第1号	専決処分の承認について(日向市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例)	承認(全員一致)	文教福祉環境
報告第2号	専決処分の承認について(日向市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認(賛成多数)	文教福祉環境
報告第3号	専決処分の承認について(日向市介護保険条例の一部を改正する条例)	承認(全員一致)	文教福祉環境
報告第4号	専決処分の承認について(平成26年度日向市一般会計補正予算(第8号))	承認(賛成多数)	*3委員会
報告第5号	専決処分の承認について(平成26年度日向市公営住宅事業特別会計補正予算(第3号))	承認(全員一致)	産業建設水道
報告第6号	専決処分の承認について(平成26年度日向市財光寺南土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号))	承認(全員一致)	産業建設水道
報告第7号	専決処分の承認について(平成26年度日向市細島東部住環境整備事業特別会計補正予算(第1号))	承認(全員一致)	産業建設水道
報告第8号	専決処分の承認について(平成26年度日向市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号))	承認(全員一致)	産業建設水道
議案第51号	日向市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	可決(賛成多数)	文教福祉環境
議案第52号	日向市簡易水道事業条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第53号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第54号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第55号	工事請負契約の締結について(日向中学校増改築事業)	可決(全員一致)	文教福祉環境
議案第56号	平成27年度日向市一般会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)	*3委員会
議案第57号	平成27年度日向市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決(賛成多数)	文教福祉環境

※3委員会とは、総務政策、文教福祉環境、産業建設水道の常任委員会です。

▼委員会が提案した議案と審議結果

議案番号	議案名	審議結果
議案第6号	日向市議会会議規則の一部を改正する規則	可決(全員一致)

▼請願・陳情と審議結果

請願・陳情件名	審議結果	付託委員会
(新規) 陳情第1号 安全保障関連法案の審議にあたり慎重な取り扱いを求める意見書提出に関する陳情書 陳情者: 日向市大字日知屋12002-137 日向民主商工会会長 中村千代治さん (趣旨 70年もの間、平和国家の道を歩んできて、今、安全保障関連法案が提出されたことに不安と困惑を覚える。住民の命と暮らしを脅かしかねないこの法案の成立には多くの国民が反対しているので、国に対し、審議にあたり慎重な取り扱いを求める意見書を提出して欲しい。)	継続審査(賛成多数)	総務政策

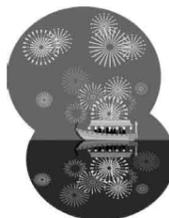
本誌に掲載された質問や答弁など、詳しい内容をお知りになりたい方は、会議録(8月末発行予定)をご覧ください。会議録は議会事務局、市立図書館に備えています。また、市議会のホームページでも、会議録の検索と閲覧ができます。



# 6月定例会

## 委員会審査から

6月定例会初日に上程された市長提出議案15件について、9日間の議案熟読の後、6月12日に本会議で質疑を行い、それぞれ所管の常任委員会に審査を付託しました。委員会における審査の内容を、委員長報告の中から紹介します。



### 総務政策常任委員会

付託された報告1件は賛成多数で、補正予算1件は全員一致で原案のとおり承認・可決しました。

審査の中で、「社会保障・税番号制度業務システム対応事業」の減額補正に関連して、いわゆるマイナンバー制度の仕組みや準備状況、市民への周知の仕方、情報セキュリティの問題等について質疑があり、所管課から「マイナンバー制度については、本年10月から国民一人一人に12桁の番号が通知され、法人にも一つ番号が付く。来年1月からは税の手続き、雇用保険、社会保障で利用が始まり、希望すれば、紙で通知された番号カードを身分証明書にもなるプラスチック製のカードに交換できる。平成29年1月からは国の機関で、最終的

に、同年7月から各自治体間において情報のやり取りが始まり、添付書類の削減など行政手続きが簡素化される予定である」などの説明がありました。審査を踏まえ、マイナンバー制度の市民への周知徹底について、「番号の通知が10月に迫る現在、多くの市民がこの制度の仕組み、内容等について十分に知らされていない現状にある。市民の間に混乱、不安が生じることのないよう情報提供、説明を丁寧に行い、周知徹底を図りたい」と意見を付記しました。

### 文教福祉環境常任委員会

付託された議案は、報告4件、条例1件、事件決議1件、補正予算2件の計8件です。委員会において、6月29日から2日間、現地調査を踏まえ、慎重に審議した結果、全員一致または賛

# 一般質問

# 市政を問う!!

6月定例会では、6月22日から25日までの4日間、市政に関する一般質問が行われ、13人の議員が登壇しました。質問内容は、合併効果、福祉、観光、地域創生、平和、産業振興等と多岐にわたっています。

これらの中から、登壇議員が選んだ質問と市長等の答弁の要旨を紹介します。

※答弁者は、市長、教育長等です。



成多数で原案のとおり承認・可決しました。

審査を踏まえ、次の点を委員会の意見として付記しました。  
今回の委員会説明資料等について、一部記載の誤りが見られたことや、資料の説明内容について、いかようにもとれるような表現が見られたことから、今後、議会への説明資料等の作成にあたっては、担当部課において慎重にチェックを行うとともに、適切な表現で記載するよう努められたい。



現地調査 (幸協小学校)



現地調査 (美々津小学校)

### 産業建設水道常任委員会

付託された議案は、報告5件、条例1件、事件決議2件、補正予算1件の計9件です。



黒木金喜 議員 (市政会)

#### 合併の効果と課題について

**問** 合併の財政効果、合併特例債発行額、活用した事業、今後の活用計画を問う。課題として、東郷地区の救急車の配備、高校生通学バス運行、道の駅とうごうの駐車場整備計画、市政報告会開催を問う。

**答** 合併による削減効果は約52億56億円の見込みである。事業は小中一貫校整備、給食センター建設等で、今後新庁舎建設に活用予定である。救急車配備は中期的課題として検討、通学バス運行も慎重に検討する。道の駅駐車場の整備は管理者である県に要望していく。市政報告会には「日向市まち・ひと・しごと創生座談会」として市内7カ所で行う。

6月29日、現地調査を踏まえ、慎重に審査した結果、全員一致で原案のとおり承認・可決しました。

審査を踏まえ、次の点を委員会の意見として付記しました。  
観光振興課所管の、平成27年度一般会計予算中の、「観光客誘致推進事業」において、本市の観光拠点施設である「道の駅日向」をはじめ、「道の駅とうごう」「まちの駅とみたか」「海の駅ほそしま」が連携し、再編と強化を図るため、外部専門家（地域力創造アドバイザー）を招へいして、地域間競争を勝ち抜く観光戦略の策定や、新たな観光商品の開発等を行うとのことであるが、日向市の特性に即したアドバイザーの招へいに努められたい。



現地調査 (細島港国際物流ターミナル)



現地調査 (東郷町大谷入口)

#### 農林業の振興について

**問** 畜産用おが粉不足と価格対策、子牛の地元保留対策、鳥獣被害の現況、遊休農地対策を問う。

**答** おが粉問題は県等と対応する。子牛対策は市の事業活用と農家への指導を行う。鳥獣被害対策は農地について、これまで約120キロメートルの侵入防護柵を設置した。猿対策は檻、箱罠の導入や捕獲活動に対する支援を行った。遊休農解消として、「薬草の里づくり」を目的し適地選定を行う。

#### 自然災害対策について

**問** 地震、津波、自然災害で、ダム崩壊はないか。低レベル放射性廃棄物の安全性を問う。公民館にある土砂災害危険区域表示板の更新、警戒区域の調査状況を問う。

**答** ダムの耐震性は確保されている。廃棄物は現在地下貯蔵施設を建設中である。土砂災害については、県が土砂災害防止法に基づき、基礎調査を実施中であり、表示板の更新は県と連携して取り組む。



海野誓生 議員  
(社民・民主の会)

子どもの貧困問題について

**問** 困窮家庭の子どもが、大人になっても貧困から抜け出せない「貧困の連鎖」の解消を目指す、本市の取組みは。

**答** 地域における子どもの貧困の実情を把握して、国の「大綱」及び県が策定する「子どもの貧困対策計画」と照らしながら、必要な施策や総合的な支援を実施していく。また、経済的理由から就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助費の支給、市育英奨学金貸与等により負担の軽減を図る取組みや、子どもたちの学習機会の保障や学力向上を図っていきたい。

宮崎交通のバス路線廃止問題について

**問** 南部地域を運行している宮交バスは、利用者が少なく、赤

字路線であること等から廃止を含めた見直しの対象となっているがどうか。

**答** 自家用車の普及や人口減少等に伴う利用者の減少により、厳しい経営状況に陥ったバス事業者は減便等を余儀なくされ、そのことが利便性の低下、更なる利用者の減少を生むといった悪循環にある。現時点で、当該路線が見直し対象路線として決定している状況ではない。

公園及び小中学校におけるトイレの洋式化について

**問** 近年、家庭における洋式トイレの一般化により、子どもが和式トイレを使えない、嫌がる傾向にある。また、障がい児(者)や高齢者にとっても、和式トイレは使いづらいものとなっているがどうか。

**答** 家庭における洋式トイレの普及や高齢者の施設利用増加に伴い、洋式トイレへの改修要望は増加しており、今後とも年次的に改修を行う。また学校では、洋式トイレの設置率は約19%であり、今後とも、計画的に洋式化していきたい。

効果について伺う。

**答** クルーズ需要のあるアジアを中心に、県など関係機関と協力し、7万7千ト級までの客船を誘致したい。経済効果については、中国人約2千人が乗る客船の寄港1回あたり約1950万円と試算している。内訳はシヨッピンダ等1460万円、交通機関利用350万円、会場設営、警備費、おもてなし費用などが140万円となっている。

ふるさと日向市応援寄附金事業の現状及び地域活性化効果について

**問** 前年並みの寄附が集まるのか、今後の可能性について。またどのような形で地域活性化に繋がっているのか伺う。

**答** 平成26年度は、約2億4800万円の寄附があった。返礼額は約1億2千万円で、市内事業者への直接的な経済効果も大きい。リピーターの確保や新たな商品開発の取組みに繋がるなど、間接的な効果があった。さらに寄附を通じて、日向市を知る方も多く、地域活性化策としても大変有効性が高いと考えている。

海外クルーズ船誘致動向について

**問** 油津港に10万ト級以上の岸壁が完成したことによる細島港への影響と、寄港1回あたりの経済



溝口 孝 議員  
(政真会)

金ヶ浜眺望スポットの整備促進を

**問** 金ヶ浜海岸は全市公園化構想の中で景観修景軸『ひゅうが海景』に位置づけられている。当該地は県有地であり、県議会で西村議員の質問に、日向市と協議を開始したと前向きな答弁があったと聞く。今後の整備計画について伺う。

**答** 金ヶ浜のすばらしい海岸線を眺望できる景観スポットと認識している。県の姿勢に感謝している。地域の方々と国・県等関係機関と連携を図りながら、眺望スポットの整備を図っていきたい。

美々津中学校区の小中一貫校設置について

**問** 南海トラフ巨大地震での津波浸水区域内にある美々津中学校の移転を含め、美々津中学校区の小中一貫校設置について地元から要

望を受けている。今後の計画を含め見解を伺う。

**答** 幸協小学校と美々津小学校については地域の方々と協議を重ね、平成28年4月に統合する。美々津中学校区の一貫校設置については、南海トラフ巨大地震のことも念頭に、設置場所等の検討も含め、教育環境の整備を推進していきたい。

プロスポーツキャンプ誘致、施設整備について

**問** 日向市スポーツキャンプ等誘致推進協議会が発足した。東京オリンピック事前キャンプやプロ野球ほかサッカーリーグ等の誘致も視野に、施設整備等を含め今後の基本的な考えを伺う。

**答** プロスポーツ関係者からの助言を得ながら、キャンプ誘致に最低限必要となる施設の効果的な整備の在り方等について検討する。東京オリンピック事前キャンプについては、ハードルは高いが、施設面を含め誘致に向け粘り強く頑張りたい。



西村豪武 議員  
(改革クラブ結い)

日向版シルバーハウジングプラン等の展開の再考察を

**問** 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取組みを示せ。

**答** 高齢者の移住施策は、介護需要増大に伴う社会保障費増加の懸念や国の財政支援が不明確な中、高齢化の進行が著しい本市では慎重に検討する必要がある。日本版「CCRC構想」の国からの意向調査で高齢者の移住政策に手を上げなかつたのは、今年度策定の「定住促進方針」の中で検討予定であり、今回の調査では「推進するかどうかは今後考える」と回答した。

文化財活用のまちづくりと観光浮揚策の連携を

**問** 美々津伝建地区の課題と黒田の家臣の管理の改善策を示せ。

**答** 指定文化財等を観光素材とした「ひゅうがが舟出プロジェクト」で、観光誘客事業を展開中。電柱地中化は景観づくり、防災面の効果もあるが、巨額の事業費がかかり、地中化以外の方法も含め事業計画策定等地元と十分協議し合意形成を図る必要がある。漆喰壁補修事業は経年劣化で壁崩落や白蟻被害も発生しており、国・県に対して支援要請していきたい。黒田の家臣等史跡の保存・活用は観光面も合わせて総合的に検討する。

新庁舎建設、支所改築、避難施設等の最優先課題は

**問** 建設費高騰に伴う課題を示せ。

**答** 6月末に建設市場の動向を見極め事業費を確定し、9月議会に予算計上。財源は合併特例債を活用予定。建設費縮減に向けて、矩形形状の採用、立体・地下駐車場の採用見送り、庁舎規模の縮小等を行った。分散型庁舎は、コスト、人員配置、利用者の利便性の面から好ましくない。支所等は公共施設全体の再配置計画の中で検討。民間の避難ビル建設への整備助成制度は、先進事例自治体を調査研究していきたい。



柏田公和 議員  
(改革クラブ結い)

「黒田の家臣」の維持管理の責任主体はどこか

問 「黒田の家臣」の維持管理について問う。

答 「黒田の家臣」がある場所は国有地で、県指定の文化財なので、管理責任は県になると思う。しかし日向市にあり、代々黒木さんが顕彰されていて、そのご厚意に甘えている面もある。管理に関する考え方の基本は、地域の宝として、地域で守るということではないか。市民との協働・地域力の活用が市の基本理念である。所管は県だが、まずは地域で地域の宝を守っていく気運を醸成することが大事ではないか。「HOSHISHIMA (ほそしま) まちづくり協議会」の人たちが、地域の宝として善意で取り組んでいる現実を踏まえれば、細島地区の人たちで維持管理していただきたいと思う。機会があれば同協議会の人たちと協議をしたいと思っている。

地域活性化に県立高校の活用は

問 日向市内の3つの県立高校生が持っている柔らかい頭脳、新鮮な想像力、またそれぞれの高校が持つポテンシャルを日向市の地域活性化に活かすよう取り組み考えはないか。

答 県立高校は、県教育委員会の所管で、市が関与できない分野がある。しかし実態を聞くとこれではいけないと思い、いろいろ考えた。現在、各産業界の方々話し合い、それぞれの学校の在り方について、先生方も含めた有識者会議の設立準備を進めていて、ほどなく設立できると思う。地域と学生の関わりが、学生たちの将来にとって大きな糧になると思うので議論を深めていきたい。



黒田の家臣

意味や豊かに成長していくこと、すばらしさなどを重視した教育実践が、各学校においてはどのようにすすめられているのか。

答 各学校においては、学校の実状に応じて子どもや保護者、あるいは地域の方々とのニーズにあった一人ひとりの子どもを大切に育てる教育を心がけている。またキャリア教育の取組みも充実させている。

市民が安心して暮らせる生活環境を

問 生活道路の拡幅や舗装整備と交通・通学を妨げる木草の剪定・伐採対策を抜本的に強めること、また高齢者の生活・医療の面から、乗合バスと宮交バスの運行改善策が切実に求められているかどうか。

答 生活道路については、多くの箇所舗装補修等の要望が出されており、緊急性や安全性などを考慮し工事等を実施している。木の枝等は事故につながる恐れもあり、市が実施する伐採業務と併せ、地区との連携を図り対応している。

人口減少と地方創生の取り組みについて

問 人口減少社会の克服と地方創生の基本的な取り組みについて問う。

答 合計特殊出生率が急速に低下し、人口減少の局面に入り、今後とも加速度的に進行すると予測されている。まずは「しごと創生」が最重要課題であり、「若者定住雇用創出プロジェクト」の推進・人材育成に取り組む。人口減少により、地域経済の衰退が懸念されるので、海のインフラと陸のインフラの相乗効果により、経済効果を最大限発揮できるように努めていきたい。



木田吉信 議員  
(政真会)

日向市立東郷病院について

問 整形外科の医師が退職され、更に、内科の医師も退職予定である。「日向市立東郷病院改革プ

ラン」は、医師3人・病床30床が基本であり、このような状況での病院改革をどのように考えているか問う。

答 医師確保については、県や大学の協力を仰ぎながら総力を挙げて取り組んでいるが厳しい状況である。本年度は、国の新たな「新公立病院改革ガイドライン」に沿って、持続可能な病院経営に取り組み、新たな病院改革プランを策定する予定である。

ごみ処理の有料化について

問 財政改革の面からもごみ処理経費の削減は重要である。先の議会で「行財政改革大綱に添って検討する」と答弁されているが、いっから有料化に踏み切るのか問う。

答 豊かな自然環境や快適な生活が守られるよう、ごみの排出抑制・減量化・資源化など市民、事業者、行政の協働による循環型社会を目指している。導入にあたっては、消費税などの経済情勢を十分に勘案し、また市民アンケートをもとに慎重に検討を続けたい。

18歳選挙権引き下げを見据えた対応について

問 選挙権を20歳から18歳に引き下げる公職選挙法改正案が、今国会で成立した。改正に伴い、教育現場で若者の政治に対する関心はどう養っていくのか問う。

答 学校現場においては、社会科学の学習の中で、選挙の仕組みや選挙の意義について考えさせ、選挙は国民の権利であり、その権利を行使することは大切であると指導を行っている。また、学校行事の中で、生徒総会や模擬選挙を通して、子どもたちが自分で判断して決定する場を設けるなど、将来の主権者として、十分な資質を身に付けることができるように、教育の中立性を考慮しながら、選挙への関心を高める取り組みを進めている。今後も、選挙を含め、政治・経済についての学習を深め、自分で考え、判断し、行動する主権者として、自立した子どもの育成に努めていく。



外国人観光客対策について

問 観光で本市に来る場合、事前にインターネット等で情報収集するのが一般的なので、観光案内ホームページの部分的な英語表記を全面表記へ拡充すべきではないか。

答 本市のホームページの外国語観光情報については一部であり、観光情報については日本語のみとなっている。今後、アジアの経済成長によるインバウンド観光の推進やアジアを中心とした豪華クルーズ客船の寄港増加、円安傾向によって、訪日外国人が増加することが予想され、情報発信環境の整備はますます重要になってくると考えている。本市の魅力や観光地を広く知ってもらうためにも、外国語表記については検討していく。



荻原紘一 議員  
(日本共産党市議員)

戦争法案を阻止し かけがえのない平和を

問 憲法9条を踏みにじる戦争法案の成立を許さないことについて。安倍政権が成立を急いでいる戦争法案は平和憲法を壊し、アメリカが企む戦争に自衛隊、若者を参加させる危険で最悪の法案であり、国民の大多数が反対している。戦争か平和か、日本の運命を左右する歴史的な戦いになっているがどうか。

答 平和主義を定めている憲法第9条の基本理念が今日のわが国の平和の礎となり、世界恒久平和に貢献していることは大切だと認識している。

子どもが人間として 学び成長する教育を

問 一人ひとりの子どもたちが人間として大事にされ、学ぶこと



治田修司 議員  
(公明党市議団)

### 手話言語条例について

**問** 昨年の6月議会で手話言語法制定に係る意見書が採択されたが、制定に向けての動きと、制定日、施行日について伺う。

**答** 聴覚障害者協会のほか関係団体との協議を経て、6月12日に「第1回日向市手話言語条例検討会」を開催し、条例等の概要を説明し意見交換を行った。今後とも、条例制定へ向けて活発な議論が行われることとなる。同条例は本年度中に制定し、平成28年4月の施行を予定している。

### 障がい者の就労支援について

**問** 障がい者の就労支援と事業所利用者の工賃向上の取組みに新しい施策が必要ではないか。



谷口美春 議員  
(日本共産党市議団)

### 放課後児童クラブ等について

**問** 東郷・塩見・美々津・細島地区においては、放課後子ども教室のみが行われているが、さらなる対策を考えているのか。夏の暑さ対策を含む施設の改善や補修について、財政面などから支援する計画はあるのか。

**答** 放課後子ども教室は原則として学校の授業日に開設しており、土・日や長期休業中の開設は考えていない。また、放課後児童クラブの施設の改善や補修等は、その必要性や緊急性などを勘案しながら対応していきたい。

### 国民健康保険税の徴収等について

**問** 納期限の延長期間が最長2年、延滞金も免除される制度「徴収の猶予」の市民への周知徹底はど

**答** 既存の「日向市・東臼杵郡障がい者自立支援協議会」により、ネットワークを活かし新たな市場開拓に取り組んでおり、市としても、同協議会での協議をさらに深めながらその支援に努めていきたい。新庁舎整備計画では、1階に市民が利用できるスペースを設け、各種福祉施設や事業所の物品販売等の場としての活用を考えている。

### 障害者虐待防止法の取組みについて

**問** 福祉施設内での障がい者への虐待が大きな問題となっているが、各施設内にコンプライアンス体制の整備を進めるべきではないか。

**答** 山口県下関市での事件を受け、県より「障がい児・者に対する障害者福祉施設従業者等による虐待防止の徹底について」の通知が来ており、市としても毎年「日向市障がい者虐待防止研修会」を開催している。福祉施設内のコンプライアンス体制整備については、法人監査の中で指導していきたい。

うしているか。もっと市民が利用しやすく、納税しやすい制度にする為にも「徴収の猶予」の適応条件を緩和する考えはないか。

**答** 納付書発送時に同封する「国保ひゅうが」や、市ホームページに要件や申請方法を掲載している。自治体の判断によってその適用条件は緩和できないが、納期限内での納税が困難な世帯に対して、きめ細やかな対応を行っている。

### 子どもの医療費助成制度について

**問** 現在、子どもの医療費助成制度の対象は、市内に住民票のある小学校6年生までの児童となっているが、対象を中学校3年生(15歳)までとする考えはないか。

**答** 少子化対策の一環として「乳幼児医療制度の充実」を掲げ、平成25年10月に助成対象年齢を小学校卒業までに拡大し支援策を講じてきた。医師会等との協力が不可欠だが、子育て環境の充実を図る為には必要なことと認識しているため、実施する方向で検討したい。



黒木万治 議員  
(日本共産党市議団)

### 格差と貧困が拡大するアベノミクスについて

**問** 大企業と富裕層は大儲け。庶民のくらしは物価高、消費税増税による実質賃金の低下、年金の削減などで苦しくなるばかりだ。市民の立場からして、この路線では展望は開けない。どういう認識か。

**答** 今年3月に本市が実施した「商工業及び人口減少に関するアンケート調査」では、過去3年間の売り上げの状況について、「横ばい」が40・2%、「減収減益」が30・3%であり、本市の地域経済には未だアベノミクス効果は薄いと感じている。

### アスベスト(石綿)対策について

**問** 市内の公共施設、民間施設(工場)などのアスベストはすべて除去されていると考えてよいのか。



岩切 裕 議員

### 市民に「我慢」を求める市政への転換を

**問** 人口減少・経済縮小社会、いわゆる「右肩下がりの社会」における自治体運営の基本的な姿勢、考え方として、市民に「我慢」を求める市政への転換、その自覚、心構えが欠かせないと思うが如何。

**答** 歳入の減少が見込まれる中、インフラ更新等負担の増大が懸念される。今後の自治体運営については、中長期の財政見通しを示し、事業の必要性、優先性について市民の理解が得られるよう、効率的かつ効果的な行財政運営に努めていきたい。

### 「地域際収支」プラス化の取り組みを

**問** 「地方創生事業」は単なる事業の寄せ集めではなく、地域全体の接続可能性を確かにする多面

か、実態について確認したい。

**答** アスベスト規制の強化に伴い、アスベスト対策は進んでいると考えられるが、市内の建築物の一部には、対策が完了していない建築物も現存するものと認識している。

### 大雨時の排水対策について

**問** 本谷区の谷口及び千束口の排水対策について、市内にこのような家屋まで浸水するところが未だにある点を早急に改善すべきだと思うが、どうか。

**答** 本谷区谷口は、平成14年度に地区住民立ち会いの下、上部山林の水が住宅内に流入しないよう排水整備を実施した。千束口は、平成24年度、地区河川の流末に可動式スクリーンを設置、越水時のパイパス排水整備も併せて施工したほか、河川の土砂撤去も定期的に実施している。



的、総合的なデザインに基づく立案、推進が必要だ。「地域際収支」プラス化の取組みについてはどうか。

**答** 国が今年作成した「地域経済分析システム」によると、本市の2013年の域外からの取引流入額は合計で524億6300万円、現在詳細な数値を分析している。「域外市場産業」の集積を促進し、競争力を強化することが重要だ。

### 東郷病院は指定管理者の導入を

**問** 「改築基本構想」によれば、東郷病院は「かかりつけの病院」で、医師3人、30床は出てこない。診療所にしても、指定管理者を募集して、応募者などという病院にするか話し合いながら改築するののも一つの方法だと思うが如何。

**答** 指定管理者募集となった場合、病院は医師、病床、看護、医療機器のあり方も含めて、当然、専門的に考えるだろうから、それらの点を十分に整理しながら、そのような事態になれば、話し合いもしていきたい。

## 全員協議会

### 日向市・東臼杵郡町村議会議長 連絡会の要望事項について

6月26日、「日向市・東臼杵郡町村議会議長連絡会」としての県及び国への要望事項を決定しました。  
要望事項は、圏域の住民生活に直結する、産業振興、港湾・河川・道路整備、地域医療、防災、教育の課題9件で、8月7日に県知事・県議会へ、8月20日に県北の国・県の機関へ要望する予定です。

### 日向市森林・林業・林産業活性化議員連盟総会

6月26日の本会議終了後、平成27年度の総会を開催しました。

総会では、平成26年度の活動報告・決算が承認された後、平成27年度の活動計画・予算が全員一致で可決されました。今年度は、特に林業活性化に関する理解を深めるために、自主的な研修の場を設けることになりました。

## 各種委員の選任

### 国民健康保険運営協議会委員

日高 和広  
三樹喜久代

### 選挙管理委員会委員及び補充員

任期満了に伴う選挙管理委員会委員と同補充員の選挙は、指名推薦の方法により、次の方が当選されました。

#### 選挙管理委員会委員

鈴木 一治さん(富 高)  
古川 廣幸さん(山陰辛)  
野別 忠勝さん(亀崎西)  
橋口 洋子さん(山陰甲)

#### 選挙管理委員会補充員

木村孝太郎さん(山陰丙)  
松濱 光子さん(平野町)  
岩見 次夫さん(山陰辛)  
治田 幹生さん(比良町)

### 情報公開制度の運用状況

日向市議会情報公開制度の平成26年度の運用状況を公表します。

① 情報開示請求受理件数 3件

開示承諾件数 3件

② 開示請求等の対象文書の内容

- ・平成25年度政務活動費収支報告書及び支出伝票の写しの交付
- ・平成26年3月定例会文教福祉常任委員会会議録の写しの交付
- ・平成26年9月定例会総務政策常任委員会会議録の写しの交付

## 永年勤続表彰伝達式

6月17日、地方議会議員在職20年以上の功労により、日高一直元議員に全国市議会議長会から表彰状が授与され、6月26日の議会前に議長室で伝達式がありました。

日高元議員は、平成7年5月の初当選以来、連続して5回当選。20年の長きにわたり市政の発展、また議会の改革に尽力され、本年5月に勇退されました。



## 編集後記

今年度も開かれた議会を目指し、今定例会において、小学校区単位での議会報告会実施を決定しました。11月開催予定です。詳細については、次号で掲載します。

今定例会号から、新体制による委員会構成で編集を行うことになりました。読みやすく、分かりやすい紙面作りにも努めてまいりたいと思います。

### 議会広報特別委員会



委員長…黒木 高広  
副委員長…岩切 裕  
委員…柏田 公和  
富井 寿一  
治田 修司  
谷口 美春  
友石 司

## 次回の議会日程 (9月定例会予定)

- 8月28日(金) 本会議(開会)
- 9月7日(月) 本会議(一般質問)
- 8日(火) 本会議(一般質問)
- 9日(水) 本会議(一般質問)
- 10日(木) 本会議(一般質問)
- 11日(金) 本会議(議案質疑)
- 14日(月) 常任委員会
- 15日(火) 常任委員会
- 16日(水) 常任委員会
- 18日(金) 本会議(採決)

### ◇ 決算審査

- 9月28日(月) 本会議(議案質疑)
- 30日(水) 常任委員会
- 10月1日(木) 常任委員会
- 2日(金) 常任委員会
- 6日(火) 本会議(閉会)

※日程は変更される場合がありますので、ホームページ等でご確認ください。

お問い合わせは日向市議会事務局まで  
〒883-8555 日向市本町10番5号  
TEL:(52)8348 FAX:(52)8148  
E-mail:gikai@hyugacity.jp